

## 上川淵97号墳(前橋市)

ここは飯玉神社で、その社殿が広瀬川東岸古墳群の一つである上川淵97号墳の墳頂に鎮座する



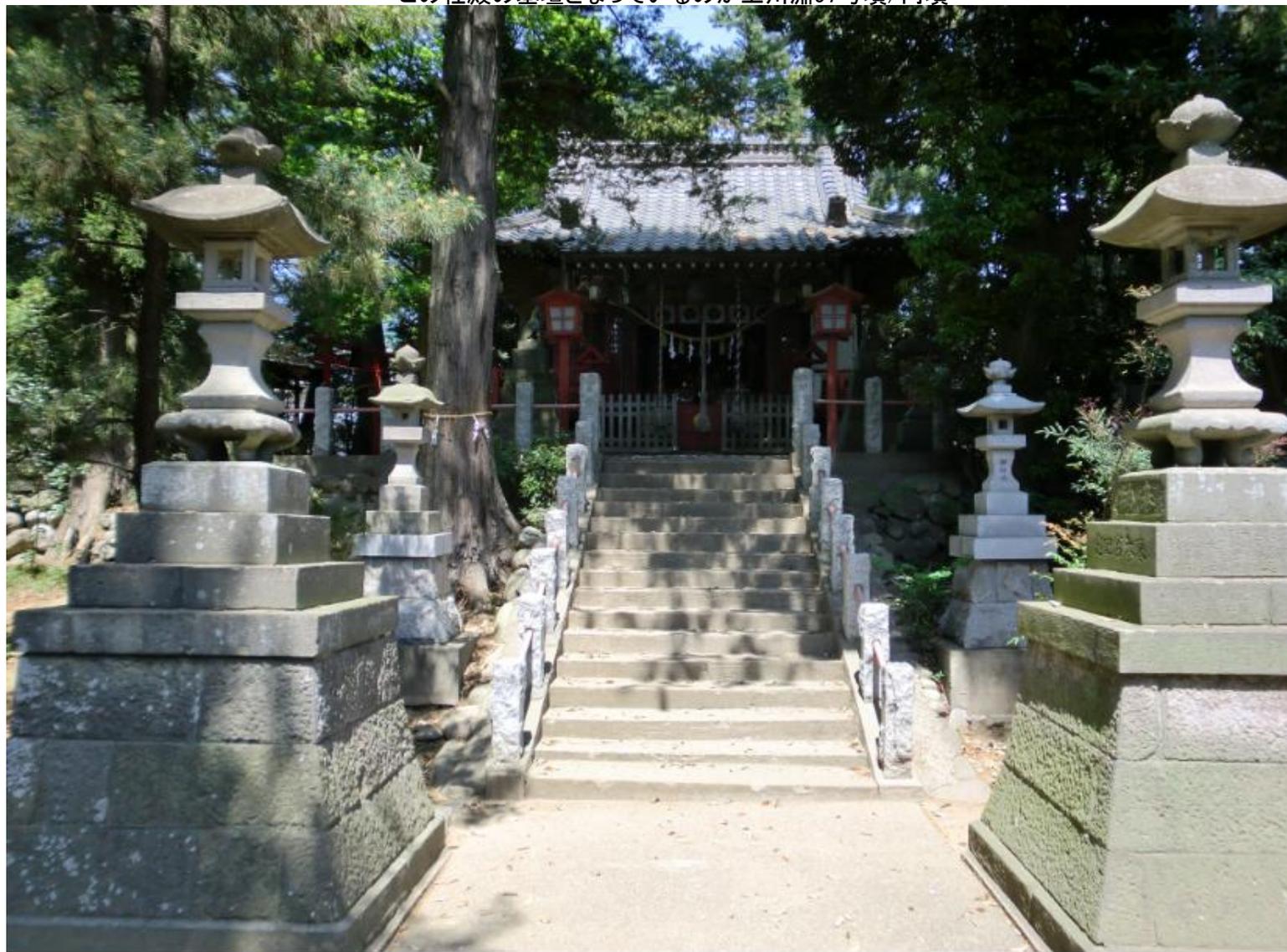
この鳥居で南側から北方向に社殿の方向を見たところ



三の鳥居から見た社殿/その基壇の役目を上川淵97号墳がしている



この社殿の基壇となっているのが上川淵97号墳/田境



飯玉神社についての説明が書かれた石碑があった



「社殿は古墳上に鎮座している」と記されている

# 飯玉神社

祭神 保食命 他 十二柱

由緒

当社は東日本最古の前橋天神山大古墳群の中心に位置し、社殿は古墳上に鎮座している。

古代、此の地方一帯は大豪族、上毛野君（かみののりみ）に関する初期の東国文化圏であった。

創建年代不詳であるが、上野国神名帳（平安時代）に記載されている群馬東部「正五位上・毛野明神」とは当社と思われる。

文永三年（一一六六）の鎌倉幕府関東下知状に、当地「後閑郷（村）」の名が上野国の中の地名として記されている。

応永年間（室町時代）に天候不順のため凶作が続き困窮の中新たに五穀豊穡の祖神「保食命」宇気母智命」を勧請合祀し稲魂（いなたま）を語源とする「飯玉明神」と改称された。

嘉永五年（一八五二）に神祇官白川家より「正一位」の神階を賜る。社は全村民に護持崇敬され、末社の稲荷社と共に霊験あらたかな鎮守さまとして、広く氏子崇敬者に親しまれ今日に至る。

# 上野國群馬郡後閑村周辺 古墳群分布図



左手に目をやると小さな高まりがあり、ここも境内社を祀っているようだ



この高まりも古墳なのか、塚なのか



こんな感じ/赤城大神



さて、飯玉神社社殿の周りを反時計回りに廻ってみよう/墳丘の具合が見てとれる



南東側から見たところ



北西の墳丘部分には稲荷社があった/霧島稲荷大明神



社殿背後(北側)の墳丘法面を見たところ/墳丘下は隣の駐車場になっている



さて、社殿の左側(西側)に辿り着いた/墳頂は削平されている/手前は拝殿で奥は本殿



拝殿の向拝を西側から東方向に見たところ



拝殿の正面(向拝)を見る



三の鳥居方向を見下ろしたところ



社殿の右側(東側)を見たところ/向こうに見えるのは稲荷社



さて、墳丘背後(北側)にある隣の駐車場から墳丘及び社殿全体を見たところ



近づいて見たところ



社殿を見上げたところ



## 参考ホームページ

[http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/maebasi\\_iigyoku/](http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/maebasi_iigyoku/)

<http://mj-ktmr2.digi2.jp/p10gm/tpx14112309hirose.htm>

<http://blogs.yahoo.co.jp/npcsk058/12480100.html>

